

(ケ) 課題番号9

課題分野：Ⅱ	課題名：「農地マネジメントの推進」	
対象：農地を貸したい農家、耕作放棄している農家	計画期間：H27～29	
	農林振興事務所名：南部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①農地の出し手農家の発掘 ②耕作放棄地解消の支援	①事業説明会・マネジメントチーム会議開催、パンフレット配布等 ②農地活用モデルの設置	①マッチング面積5.8ha ②加工用キャベツ50aを栽培実践

総合評価（コメント）
<p>A：4名</p> <ul style="list-style-type: none">■耕作放棄地問題は地域全体で取り組まなければならない課題で、キャベツやタマネギなどを提案・導入して解消に期待します。■県の推し進める戦略の中で、非常に重要な位置づけになっていると思われるので、頑張ってください。■南部の地域的な事を把握できている。■耕作放棄地の解消につながる農地マネジメントをすすめてほしい。 <p>B：2名</p> <ul style="list-style-type: none">■耕作放棄地解消品目として、加工用キャベツが選ばれた理由やその展開可能性についての説明と今後の課題についてもう少し明確な説明がほしかった。■マッチングの成功例と不成功例の紹介などがあれば地域の実情をより理解できたと思うが、引き続き重点活動地区を設定するなどしながら耕作放棄地の解消に努めてほしい。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none">■加工用キャベツを選択した理由は、大きな面積で栽培できること、機械化が可能であること及びJAとの連携で販路が確立されていること等が理由です。今後は集落営農組織を中心に面積拡大が可能と考えています。今年度実証した機械化一貫体系で概ね80a程度までは対応可能と考えてございますが、さらに大規模となると防除やかん水等の機械化が必要となることと考えており来年度に実証を行う予定としております。■マッチングの不成功の原因は、主に貸す農地の悪条件（進入路がない、水が自由に使えない及び日当たりが悪い等）があげられます。引き続き重点活動地区を設定し耕作放棄地の解消に努めます。